国道１５９号　金沢東部環状道路の事業推進

石川県金沢市

- 広域的連携交流・活力ある地域づくり
- 安全で安心な地域づくり

事業の概要

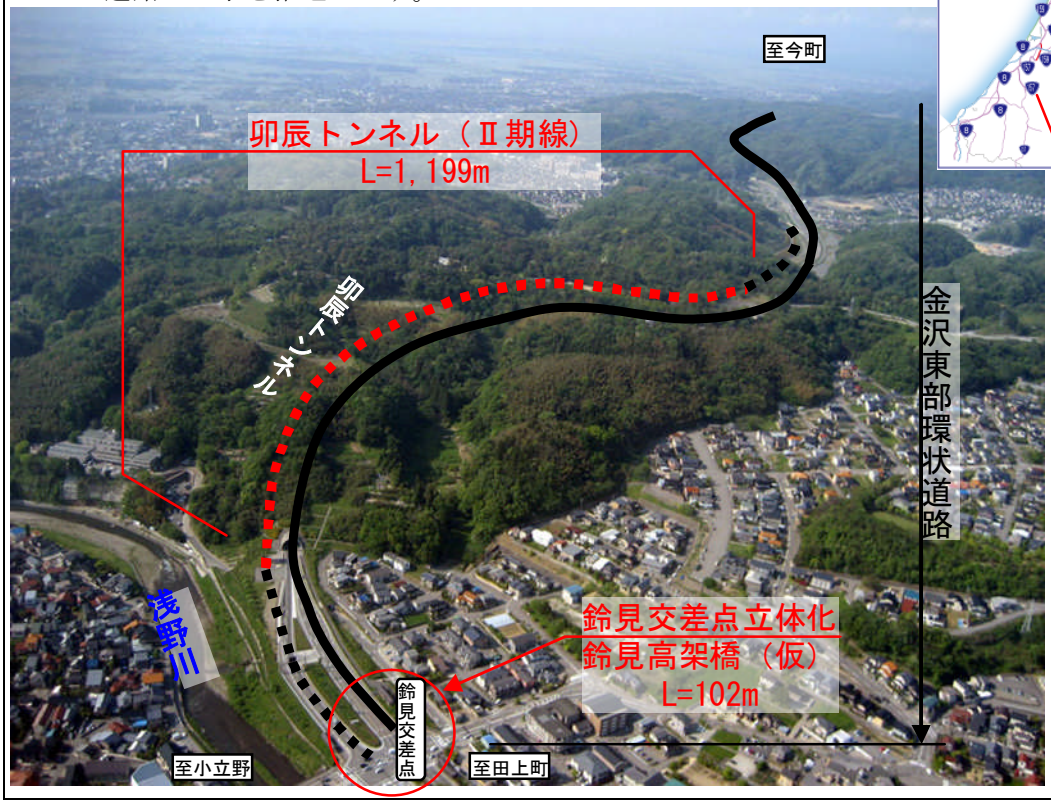
金沢東部環状道路は山側環状の一部を構成し、北陸自動車道や能登有料道路とあわせて、広域的な道路ネットワークの形成を目的とした延長約 9.4km の事業です。現在は、増加している交通を円滑に処理するため、鈴見交差点の立体化を推進しています。

整備効果

鈴見交差点立体化により、鈴見交差点全体の渋滞が緩和され、交差点内での接触事故や信号待ち車両への追突などの事故の大幅な減少が期待されます。また、卯辰トンネル（Ⅱ期線）の整備により、金沢東部環状道路（山側環状）から中心部へのアクセスが改善され、高度医療施設（第三次医療施設：金沢大学附属病院）へのアクセス性向上による救命率向上も期待されます。

事業着手

昭和６２年度

平成２１年度の事業内容

平成２１年度は、鈴見高架橋（仮称）（L=１０２ｍ）の上部及び舗装工事を完成させ、鈴見交差点立体化の延長約０．７ｋｍを供用する予定です。また、卯辰トンネルⅡ期線（L=１，１９９ｍ）及び神谷内アクセス道路の工事を推進します。